

米F15撤退、日本の立場主張せよ

12月1日、嘉手納基地から米空軍F15戦闘機がオレゴン州に向かって飛び立った。2024年末までに沖繩から撤退する約50機のF15C/D型戦闘機の第1陣である。機体の老朽化に伴い、約2年かけて退役させ、装備の近代化を図るといふ。

常駐と巡回配備で雲泥の差

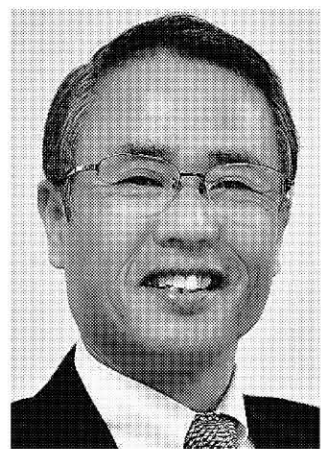
嘉手納基地はインド太平洋地域における戦略的要衝であり、中国に睨みをきかせている。習近平中国国家主席は10月の党大会で、台湾統一を「歴史的任務」とし、「武力行使の放棄を約束しない」と明言した。台湾情勢が切迫するこの時期に、中国への誤ったメッセージとならないか。

米軍発表では、F15の代わりに「高性能戦闘機の巡回配備に移行する」とし、11月4日以降、アラバマ州エルモントルフ空軍基地のF22A戦闘機がローテーション方式で巡回派遣されている。F22は米空軍のみが保有する世界最強の戦闘機である。このためか、F15撤退に対する国内での反応は驚くほど低調である。

浜田靖一防衛相は「一層厳しさを増す安全保障環境に対応し、日米同盟の抑止力、対処力を維持・強化する一環として行うもので、日米同盟にとって重要な取り組みだ」と述べた。政府関係者も「F22戦闘機の巡回配備で、米軍の抑止力はむしろ高まることになる」と述べている。某軍事専門家は「強力なF22戦闘機を前面に押し出すことで、日本の抑止力は高まる」と述べる。

いずれも表層的かつ楽観的すぎる。戦闘機の常駐か巡回配備かで米軍プレゼンスは雲泥の差があり、台湾有事への抑止力は明らかに低下する。異を唱えたのは、日本政府ではなく、米国の有力議員だった。ハガティ、ルビオ両上院議員が連名で、オースティン国防長官あてに公開書簡を出した。「戦闘機部隊を常駐から巡回配備に切り替える計画は、インド太平洋における米

正論



麗澤大学特別教授
元空将
織田 邦男

国のプレゼンス低下につながる。それは侵略のハードルを下げ、バイデン政権の台湾防衛姿勢と行動とのギャップを生むことになる

「絆」の弱体化も懸念

米空軍退役中將であるデビッド・デプチュラ氏（米空軍協会ミッドチェル研究所長）も述べる。「これは米空軍が予算不足で国家安全保障戦略や国家防衛戦略を適切に遂行できない状態にあることを示す兆候だ。前方展開戦力は両戦略の基礎だが、戦力がなければ実行

できない

巡回配備では前方展開戦力とはなりえない。しかも交代時は「力の空白」が生じる。何より常駐と巡回配備の大きな違いは家族を日本に帯同するかどうかである。米

国は米国家族を守るためには、あらゆる手立てを尽くす。腰の入れ方が全く違う。それが抑止力強化につながる。

空自と米空軍との絆の弱体化も懸念される。筆者が現役の時、嘉手納の米空軍飛行隊と空自の飛行隊で「姉妹飛行隊」の関係を結ん

だことがある。共同訓練はもちろん、家族を含め公私にわたる交流は部隊レベルの絆をこれ以上ない強いものにした。当時、筆者は日本側担当者であったが、米側担当者はその後、空軍参謀長にまで上り詰めた。彼は退役後の今でも親日家である。「姉妹飛行隊」という関係が、日本と米国の関係にまで昇華され、日米同盟緊密化の一助になった。さらに深刻な懸念材料がある。

将来、米空軍中將が日本にいないことになることだ。現在、第5空軍司令官は、4個の戦闘飛行隊を隷下にもつ「中將」職である。これが2

個飛行隊になるので、第5空軍司令官は中將から少将へ格下げされるはずだ。

抑止の要である戦闘機

クリントン政権下で軍縮が実施された時、第5空軍が削減の対象となった。空自は強い懸念を国防省に伝え、厳しいやり取りを実施した。結果的には司令部要員は1/3以下に削減されたが、第5空軍は存続し、中將職も維持された。2003年のイラク派遣の際、

情報収集の面でどれだけ中將の力が役に立ったか。第5空軍司令官の力なしに空自イラク派遣はあれほど円滑かつ安全には実施できなかったらどう。

F15撤退に関する日米交渉の細部を筆者は知らない。だが「中国の台湾侵攻が切迫している時（米高官）、抑止の要である戦闘機を嘉手納から引きはがす必要があったのか。米軍の方針に反対すると日米同盟が傷つくといった遠慮があったとしたら大きな誤りだ。F22戦闘機が巡回配備されるから抑止力は高まると判断したとしたら、あまりにも短絡的過ぎる。

嘉手納基地での戦闘機部隊の長期的計画についてはいまだ何も決定されていない。F22飛行隊をエルモントルフから嘉手納に移駐させる。新型F15EXを常駐させる。案はいろいろある。今からでも遅くはない。とにかく日本の立場を主張し続けることだ。

日本は早急に防衛力を抜本的強化しなければならぬ。他方、米軍のプレゼンスが大きな抑止力を占めていることも忘れてはならない。

（おりた くにお）